

HUATAI INSURANCE AGENCY & CONSULTANT SERVICE LTD.

回報番号：PNI1506

2015年8月18日

最新情報 天津一倉庫での爆発

港湾状況

Tianjin MSAによると、Tianjin 港の全ターミナルは通常業務を再開しています。但し、爆発現場に近い Huisheng Terminal 及び Euroasia Terminal については、汚染された大気の影響により、荷役作業に影響が出ているとのことです。その他のターミナルは、現在通常通り業務をしております。

一方、爆発現場周辺の道路は未だ封鎖されており、港を出入りする車両は迂回する必要があるため、集荷作業のスピードに影響が見込まれます。

危険貨物の荷役禁止

8月17日に Tianjin Municipal Transportation Commission は、以下の通り危険貨物の荷役中止命令を関係部署に通達しました。

- 1) 危険物コンテナを扱う全コンテナターミナルは、全てのコンテナの輸出/輸入を中止する。
- 2) 液体バルク貨物を扱う全ターミナルは、全ての危険貨物の輸出/輸入を中止する。
- 3) 危険物コンテナを扱う全コンテナヤードは、全ての危険貨物の輸出/輸入及びバンニング/デバンニング作業を中止する。

Tianjin MSA は、関連部署に対して、上記通達に厳格に従い、関係する船舶及び貨物の出入港申請を取り止めるよう指示しています。(尚、本サーキュラー作成中に、残油、基油及びアスファルトといったリスクの低い危険貨物に関しては、オペレーションを再開して良い旨の通知を受けたと、Tianjin 港より情報がありました。)

また、上記通達で挙げられている危険貨物以外の貨物（鉄鉱石や農作物等）のオペレーションに関しては、規制は無いと CIQ (China Inspection and Quarantine Services)に確認しました。

大気の安全性

大気の状態に関して、24 時間体制で大気、土壌及び水の状況を監視するため、ペリメーターゾーンに 17 箇所の計測点が設置されました。最新の情報によると、上記計測点の 2 箇所で、シアン化物の形跡が発見されましたが、当面は周辺地域に害が及ぶことは無い模様です。現時点で、爆発現場から 2 キロ以内の地域には非常事態宣言が発令されていますが、それ以外の地域への出入りは通常通り可能とのことです。これらの状況から、本船が Huisheng Terminal 或いは Euroasia Terminal に着岸しなければ、安全である模様です。但し、船員の安全への配慮のため、防備具を備えるのが賢明です。また、デッキ上で作業をする船員は、着用した作業着を毎日洗濯することが推奨されます。

ご提案

1. 屋外保管されている貨物（特に鋼材）は、爆発による煙塵の影響を受けている可能性がありますので、**Pre-loading Survey** を手配したら、貨物の状態を特に注意深く確認し、適切なリマークを入れるべきです。
2. 船員の安全を確保するため、防備具を備えることが必要です。

現地の状況は逐一変化しており、今後の展開に注視し、適宜続報をご案内致します。

以上